

授業科目	ツーリズム英語					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO21309J		
開講年次	3 年	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP5-2				
担当教員	浅田 壽男								
授業概要	1. 英語の基本的な実践力を高めるとともに、ツーリズム（観光事業や旅行案内など）に直結する英語力や、その知識を養成する。 2. 主として英国を対象に、英語圏の風土、文化、社会、歴史全般について、その概要を学ぶ。 3. 使用するテキストに基づく学習や担当教員による講義や資料紹介だけでなく、授業中に指示するテーマについて、受講生自ら積極的に研究・調査し、その成果を発表して、全員で討議することも含まれる。								
学生が達成すべき行動目標	1. 英語の実践力をさらに高めるとともに、ツーリズムに直結する英語力や知識を身につける。 2. 海外、特に英語圏の各国に留学や旅行をする際に遭遇する様々な場面において、適切に対応できる英語力や知識を身につける。 3. 英語圏諸国、特に英国の風土、文化、社会、歴史に関心を持ち、それらの概要を知る。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	70	20	0	10	0	0	100		
知識・理解 (DP1-1)	30	5					35		
知識・理解 (DP1-2)	20	15					35		
知識・理解 (DP1-3)	20			10			30		
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)									
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
1. ツーリズムに直結する実践的英語力や不可欠な知識を充分に持っている。 2. 海外、特に英語圏諸国への留学や観光の際に困らない知識や対応力を持っている。 3. 英語圏諸国、特に英国に関して、その生活、文化、風習といった面に、母国との比較といった深い見識を持ち、必要に応じて、それらを他の人に説明できる。				1. ツーリズムに関わる英語や知識を理解している。 2. 特に英語圏諸国への留学や観光に関心を持ち、必要な場合には独力で情報を収集できる。 3. 英国の生活、文化、歴史、風習などの概要を理解している。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	授業の予定と進め方,成績評価の方法と基準、授業中の個人発表のテーマ、小テストなど授業全般に関する説明を行う。	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
2	London Pubs (London)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
3	Unique Georgian Spa City (Bath)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
4	Victorian Mansion Castle (Cardiff)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
5	Traditional Cream Tea (Cotswolds)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
6	Shakespeare's Play (Stratford-upon-Avon)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
7	Birthplace of the Beatles (Liverpool)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
8	Literary Lakeland (Lake District)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
9	Nessie (Loch Ness)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
10	Origin of Golf (St. Andrews)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
11	Old Spa Towns (Yorkshire Dales)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
12	Oxbridge (Oxford & Cambridge)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
13	Residence of the Royal Family (London)	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
14	個人発表の時間調整、並びに授業の総括。	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
15	引き続き、授業の総括。	講義・演習	本文の和訳をして練習問題を解いておく。	40
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1 年次に購入した単語集を活用しながら、引き続き、基礎的な語彙を身につけてください。			
テキスト	相澤一美ほか 『Exploring Great Britain』(イギリスへ行きたい！)(朝日出版社)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	小池滋(監修)『イギリス』(読んで旅する世界の歴史と文化)(新潮社、1992 年刊) 浅田壽男「イギリス英語の背景—イギリス人の暮らし—」(『言語理論の展開と応用—西川盛雄教授退官記念論文・随想集』英宝社、2009 年に所収)／「同(その2)」「同(その4)」(2009 年/2010 年『言語と文化』関西学院大学・言語教育センター紀要に所収)／「同(その3)」(2009 年『社会学部紀要』関西学院大学に所収)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	無目的に英語を学ぶのではなく、外国に行きたいとか留学したいとか、さらにはツーリズム関連の仕事に就きたいとか、具体的な目標を持つことによって、英語の学習に一層、熱心に取り組めます。			
達成度評価に関するコメント	テキストに関しては、毎回、予習が必要です。また授業を進める中で、受講生1人1人に研究テーマを与え、発表してもらいますが、その際、インターネット上の情報だけに頼らず、図書館にある文献も参考にしてください。			